

ターボタイマー直付けハーネスキット

取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取付前及びご使用になる前に必ずお読みください。
本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

E05132-K00030-00
2009年9月9日発行
Ver. 1-1.00

はじめに

この度は、HKS直付けタイマーハーネスキットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために、取付前に本書とターボタイマーの取扱説明書・取付説明書（type-1のみ）を必ずお読みください。また、ボディアース・サイドブレーキSW・車速信号（type-1のみ）・回転速度信号（type-1のみ）の配線方法および配線後の確認方法については、ターボタイマーの取付説明書（type-1）・取扱説明書（type-0）を参照して下さい。

商 品 名	ターボタイマー直付けハーネスキット
用 途	ターボタイマー用直付けハーネスキット
使用可能車種	国産車（DC12Vマイナスアース車両）
コ ー ド	4103-RA001
備 考	

直付けタイマーハーネスを使用することで、ターボタイマー本体のハーネスを加工する事なく、確実に接続ができます。国産車（DC12Vマイナスアース車両）全てに使用できます。

目次

はじめに	1	取付後の確認	4
目次	1	異常故障時の対応	4
安全上の注意	1	アフターサービスについて	4
パーツリスト	2	改訂の記録	4
取付・配線方法	2		

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業中又は使用者が、死亡又は重傷及び中傷を負う可能性がある場合

注意 作業中又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）
拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害【例えば車両の破損及び焼損】）

警告

- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両用です。24V車両には使用しないでください。火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子のターミナルを外してから取付け作業を行ってください。また、コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- 使用しない線は、ビニールテープ等で確実に絶縁してください。ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

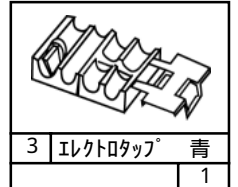
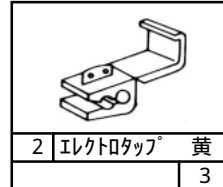
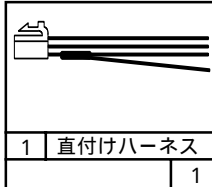
注意

- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- イグニッション電源線とアース線は、絶対に逆に接続しないでください。感電及び車両・本製品の破損・焼損の恐れがあります。
- 本製品及び車両の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
- 故障等の修理はおお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。

- 本書は基本の形を説明したものです。実際は車種によって取付方法が異なります。
- 純正部品の取付け・取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
 - ・整備書がお手元にはない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。
 - ・必要以上に締付けを行なうと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付前に異品・欠品のないことを確認してください。



- 取付に使用しなかったパーツは、大切に保管してください。
- 取付に必要な工具、部品
テスタ、ニッパ、プライヤ又はペンチ、ラジオペンチ、ドライバ、スパナ、ビニールテープ、等

取付・配線方法

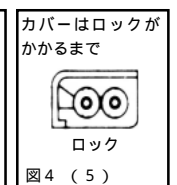
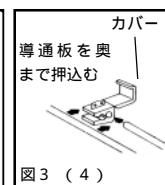
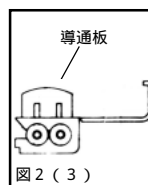
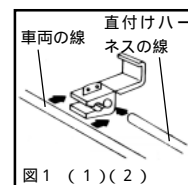
注意

- エレクトロタップは必ず付属品を使用してください。+B・IG1・IG2への接続は黄色のエレクトロタップ、ACCへの接続は青色のエレクトロタップを必ず使用してください。
接続不良による車両の破損・焼損の恐れがあります。
- +B・IG1・IG2・ACCとアースを絶対に接触させないでください。本製品が破損する恐れがあります。

1 エレクトロタップの使用法

1.1 黄色のエレクトロタップ

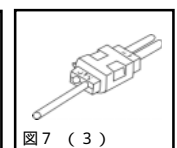
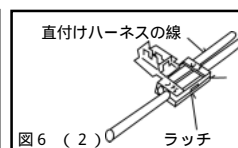
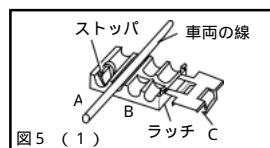
黄色のエレクトロタップは直付けハーネスの赤線・緑線を接続する時に使用してください。



- (1) 図1のように車両の配線をする線をはめ込んでください。
- (2) 直付けハーネスの線をストッパに当たるまで差し込んでください。
- (3) 図2のように指で導通板を途中まで押し込み、両方の線に導通板が当たっていることを確認してください。
- (4) 図3のようにプライヤ等を使用して導通板を奥まで押し込んでください。
- (5) 図4のようにカバーをロックがかかるまで被せてください。
- (6) 直付けハーネスの線を軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

1.2 青色のエレクトロタップ

青色のエレクトロタップは直付けハーネスの青線を接続する時に使用してください。



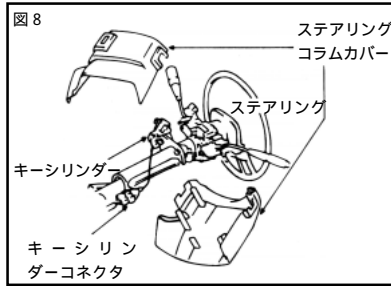
- (1) 図5のようにAのストッパーが付いていない溝に車両の線を置き、BをA側に折り曲げ、プライヤ等でラッチが噛むまで締め込んでください。
- (2) 図6のように直付けハーネスの線をストッパに当たるまで差し込んでください。
- (3) 図7のようにCをA側に折り曲げ、プライヤ等を使用してラッチが噛むまで締め込んでください。
- (4) 直付けハーネスの線を軽く引っ張り抜けないことを確認してください。

2. キーシリンダーコネクタの位置

図8のようにステアリングコラムカバーを外してください。

アドバイス

- ・取り外したビス等は、再使用するため、紛失しないように注意してください。
- ・車種によってはキーシリンダーにコネクタが直接接続されている場合があります。

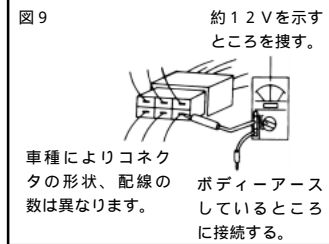


3. キーシリンダーコネクタの配線確認

テストを使用して、以下の要領で+ B、ACC、IG1、IG2の各線を探し確認してください。

アドバイス

- ・+ B、ACC、IG1、IG2の各線を探す場合は、テストのマイナス側は、ボディの金属部分（確実にボディアースしている所）に接続してください。
- ・+ B、ACC、IG1、IG2の各線を探す場合は、テストは、直流電圧測定のレンジにしてください。
- ・コネクタの線の位置を図に描いておくとう便利です。



・+ B（常時電源線）の確認



- エンジンキーを“LOCK”または“OFF”の位置にしてください。
- テストのプラス側を、図9のようにキーシリンダーコネクタの線の付け根の金属部分に当ててください。
 - ・テストの針が振れた線が+ Bです。
- + Bが複数ある車両もあるので全て確認してください。

・ACC（アクセサリ電源線）の確認

- ・キーにACCの位置がない場合は、確認する必要はありません。



- エンジンキーを“ACC”の位置にしてください。
- 確認した+ Bを除いて、+ Bの時と同じ要領でACCを確認してください。

・IG1、IG2（イグニッション電源線）の確認



- エンジンキーを“ON”の位置にしてください。
- 確認した+ B、ACCを除いて、+ Bの時と同じ要領でIGを確認してください。
- IGが2本ある車両もあるので残りの全ての線を調べてください。

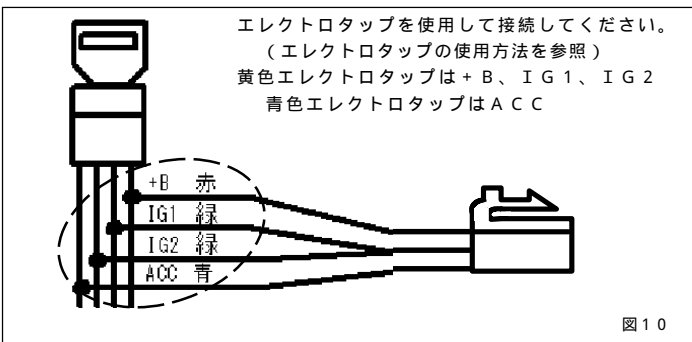
4. 取付方法

(1) バッテリーのマイナス端子のターミナルを取り外してください。

(2) + B線への接続

図10のように+ B線に直付けハーネスの赤線を黄色エレクトロタップを使用して接続してください。

- ・+ Bが複数ある場合は、そのうちの1本に赤線を接続してください。



(3) IG線への接続

直付けハーネスからは緑線が2本でありますが特に区別はありません。

IGが2本ある場合

図10のように、IG1線・IG2線に直付けハーネスの緑線2本を黄色エレクトロタップを使用してそれぞれ接続してください。

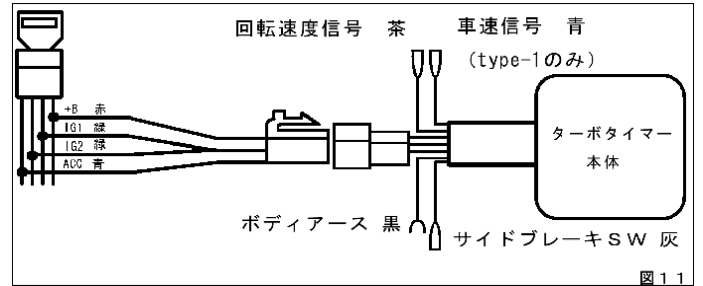
IGが1本の場合

図10のように、IG線に直付けハーネスのどちらか一方の緑線を黄色エレクトロタップを使用して接続してください。余った方の緑線は使用しませんので絶縁テープで確実に絶縁してください。

(4) ACC線への接続

図10のようにACC線に直付けハーネスの青線を青色エレクトロタップを使用して接続してください。

- ・ACCがない場合は、青線は使用しませんので、絶縁テープで青線を確実に絶縁してください。



(5) ターボタイマー本体との接続

図11のように、直付けハーネスコネクタとターボタイマー本体側のコネクタを接続します。

ボディアース、サイドブレーキSW、回転速度信号（type-1・type-0は予備）及び車速信号（type-1のみ）の配線方法はターボタイマーの取扱説明書・取付説明書（type-1のみ）を参照してください。

(6) 取外した純正部品を元通りに取付けてください。

(7) バッテリーのマイナス端子のターミナルを元通りに取付けてください。

取付後の確認

本製品の取付後、必ず下記の確認を行ってください。

1. エンジン始動前の確認

確認項目	確認
各箇所への配線は間違っていないか。	
ハーネスを強くはさんでないか。	
ハーネス及び取付けた部品が車両の部品と干渉していないか。	
バッテリーのマイナス端子が元通りに取付けてあるか。	

2. エンジン始動後の確認

確認項目	確認
部品による干渉音がないか。	
ハーネスが引張られていないか。	
エンジン停止後、各部が緩んでいないか。	

異常・故障時の対応

警告

- ・使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店に問い合わせてください。
- ・そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、及び紛失部品等の購入等の場合は、お買い上げの販売店にお気軽にお問い合わせください。

改訂の記録

Ver.	発行年月	記載変更された内容
1 - 1.00	2009/9	初版